

令和元年度大嘗祭 豊かな実りを献穀



1/写真中央下：川畑夫妻 2/神事の様子 3/粟を刈り取る様子

10月7日（月）、令和元年度大嘗祭に献穀する粟の抜穂式が上野台地の畑で行われました。大嘗祭は、天皇が即位の礼の後、初めて行う新嘗祭のことで、神様の恵みによって新穀を得たことに感謝を込めて、天照大御神をはじめ、すべての神様にお供えをするものです。抜穂式では、行政、地元関係者、JA関係者ら約40人が参加し、たわわに実った粟を刈り取りました。今回献穀する粟を栽培された川畑淳さんは、「生育初期に大雨で被害に遭い、種をまき直し、鳥獣被害対策など苦労があったが、順調に育ってくれて良かったです。献穀の日まで誠心誠意努めたいと思います」と話されました。

10月27日、たるみず折鶴の会の皆さんが荒崎パーキングで花植え等を行いました。たるみず折鶴の会は、商工会女性部として活動していた方々を中心に集まった会で、今回の活動のほかにも学校応援団として、垂水中央中学校のスクールバスの添乗員なども行っています。今回は、花だんの草取り、花植え、トイレの一輪挿しの花の交換などを行いました。同会代表の美坂康子さんは「訪れた方々が気持ちよく使っていただけたらうれしいです」と話されました。



たるみず折鶴の会
荒崎パーキングで花植え

農業委員会から教育委員会へ お米贈呈



10月11日、農業委員会より垂水市教育委員会へ、耕作放棄地となっていた水田で育ったお米の贈呈式が行われ、農業委員会・葛迫巧会長から川畑菜央さん（垂水中央中学校前生徒会長）へお米が手渡されました。農業委員会では、耕作放棄地解消事業として、委員自らが農機具等を持ち寄り、耕作放棄地の再生を行っています。今年は田神地区の水田の再生に取り掛かり、約1年をかけて稲作を行いました。また、11月18日には農業委員と生徒の皆さんで、今回贈呈されたお米を給食で頂きました。

10月4日、株式会社巡回衛生社の皆さんが垂水中央運動公園裏手のマイロードの清掃活動を行いました。この取組は、毎年行われているもので、秋にスポーツ大会等で垂水中央運動公園の利用が増える時期に合わせて実施しています。清掃活動を行った皆さんは、道路脇に生い茂った草をきれいに除草し、汗を流しました。同社・下ノ堀昇平社長は「地域の方々や訪れた方々に少しでも喜んでもらえたらうれしいです」と話されました。



（株）垂水巡回衛生社
マイロード清掃

垂水島津家墓所 清掃作業



10月4日、垂水史談会、文化財保護審議会、垂水郷土史研究会が市指定文化財垂水島津家墓所の清掃作業を行いました。本作業は、文化財保護やその価値を市内外へ発信する大切な取組です。同墓所は垂水麓の日本遺産認定など、今後も多くの人々が訪れることが期待されます。